



困難な時にこそ YMCA と共に進もう！

ワイズメンズクラブ
六甲部部长通信
2022年12月号

はんしん自立の家のギャラリーに展示されているお人形たち、神戸クラブ橋本和子メネットから贈られた。



クリスマス、おめでとうございます！

7月に始まった今年度のワイズ活動の上半期を終える頃、コロナ自粛生活からウィズコロナの時代へと徐々に動き出し、元の元気を取り戻そうとする動きが顕著になりました。

西日本区各部が熱心に取り組んだ部会では各部長の強い思いが表現され、それぞれに興味ある取組となりました。その中で特に印象に残った取組は、西中国部部会での「うてる食堂、1年間の活動」（立野泰博氏、西日本区チャップレン・熊本ジェーンズクラブ）は「コロナで分断された社会で取り残された子どもをたすける活動として子ども食堂を立ち上げ、活動を進める中で子どもの見守り・子育て支援・シニアや青少年の居場所づくり・食育など、子ども食堂から見えてくる地域コミュニティーのあり方にまで目配せをしてこられた報告に強く惹かれました。また、瀬戸山陰部の部会は、ゲスト参加を求めないで、家族を共にしたデーキャンプという思い切ったプログラムを実施、この貴重な機会を外部からの人集めに偏らず、部を取り巻く現実に冷静に向き合われたように感じました。

さて、六甲部が取り組んだCS事例発表会は如何だったでしょうか？ 予め活動事例を募集し、A4判に編集した冊子から、主に六甲部各クラブに発表してもらい、若干の討議時間を設定しました。時間的な制約から期待した討議は出来ませんでした。太田総主事（せとうちYMCA）が上手く進めて下さり何とか恰好をつけていただいたように思います。その中でCS主任伊藤文訓ワイズの「これだけの活動をやっているのに世間の認知度があがらないのは何故か？」の問いかけに答えるだけのパンチ力が不足していたように思い、悔やんでいます。

私は、六甲部の各クラブが地域性を重視し個性的な地域活動を展開しているところや、内容に応じて複数のクラブが合同で取り組んだり、六甲部として共通テーマを掲げて、各クラブの協力の下に実行しているところは大いに評価されるべきだと思います。個別の小さい活動も大事ですが、点から面へと活動を広げる中で、その中心にYMCAがあることを知らしめたいと思うのです。

改題、今年は毎月初に拡大役員会を開いて部則の検討を続けてきました。その目的は、高齢化とともにクラブ間の人的バランスが崩れ、リーダーを生み出すためのシステムに疲れが見えて始めていること、及び、クラブの設立要件が、これまでの15人から5人へと大幅に緩和されたことを生かし、若い人材を集める工夫が見えてこない、というところにあります。西日本区で最も元気があるのは「京都部」。京都部の全てが良い、参考にすべきだとは言いませんが、取り組み姿勢には正直いって脱帽です。若い力を取り込む術を心得ているかのように見えます。六甲部の各クラブでも次期会長や他の役割分担を巡り話し合いが進んでいるでしょう。六甲部の次々期部長（2024～25年度）は輪番制では西宮クラブから輩出されることになっていますが、この際、六甲部長として次々期部長に立候補をする方はいませんか？と問いかけたいと思います。西日本区の次々期理事候補に神戸クラブの鶴丹谷 剛ワイズを推薦することが10月の西日本区役員会で承認されました。次々期理事を支えるためにも時代に相応しいリーダーが出てくることを期待しています。

間もなくクリスマス、各クラブで楽しいプログラムが展開されるでしょう。時節柄、健康に留意しお過ごしなされますよう、お祈り申し上げます。

部長 若林成幸

12月六甲部会 ZOOM 役員会議事録

日時 12月5日(月) 19:00~21:10

場所 ZOOMにて

出席 若林部長、神戸クラブ美崎会長、西宮クラブ濱会長、芦屋クラブ大岩会長、
神戸ポートクラブ大野勉会長代理、学園都市クラブ杉本会長、宝塚クラブ小林会長
Yサ：井出主査、CS：広瀬主査、EMC：上杉主査、国際・交流：田辺委員長
メネット：大野智委員長、長尾会計、多胡書記

議事

1) 六甲部部会の振り返り

第一部事例発表 約50人参加。 第二部 交流会 131(招待3人含む)参加
全体として六甲部の協力のも盛況のうちに終えることができた。会計も予算内で処理した。

感想として

- ・第一部のCS事例発表に関しての司会者せとうちYMCA総主事太田さんの力量は会場を巻き込み素晴らしい司会進行だった。
- ・事例発表に参加しそれぞれのクラブの活動の素晴らしさがわかり、次に繋げるきっかけになったプログラムとして評価できる。
- ・第二部交流会は「楽しくなければワイズではない」の言葉通りの楽しい交流の会だった。

2) チャリティランの振り返り

雨が降ったり止んだりの天候の下で開催で参加者も思わしくなかったが、楽しめた。

参加ワイズ 神戸クラブ 8人、西宮クラブ 0、芦屋クラブ 2人、宝塚クラブ 6人
神戸ポートクラブ 6人、 学園都市クラブ 2人 合計 26人

3,5キロ 15人、 1,2キロ 30人 1,2キロウオーク 106人

- ・雨のために3.5キロラン走者の少なかったのは残念。
- ・仮装のランはとても良かった。
- ・課題として今後以前のようなお店を出したりするような方法でのチャリランの開催はできないと思われるのでどのようなスタイルにするかを考えていく必要がある。

3) 部則改定案に関して

- ・部長より提案された資料をもとに協議

協議内容の結果

- ・第4条の部役員の欄に神戸YMCA担当主事1名を追加
担当主事に関しては事前にYMCA総主事に担当主事を部役員に追加することに関して了解を得て総主事の推薦を受け、評議会で承認を得る手続きになる。
- ・部長選出に関しては輪番制を基に従来通りのやり方です。
指名委員会の設置はしない。そのような事項が出てきた時には部長が役員会を招集し協議することを考える。その時には部長判断でクラブ会長も含まれる。
- ・従来の運用ガイドラインは1~3で第11条に(附則)が掲げられているが、新しい案として運用ガイドラインの中の5に従来の附則を入れ指名委員会は除き、評議会にて承認の項目は外さないように入れる。

以上のような協議内容をもとに再度改正案を作成してZOOM役員会のメンバーが検討し

3月開催の評議会に部長議案として提出し、評議会で承認を得る。

4) 六甲部の次期役員等について・・・井出次期部長

- ・次年度事業主査・委員長・クラブ会長の選任報告を要請、締切を12月15日とする
- ・次々期部長（2024～2025）の立候補の受付を若林部長が呼びかける。

5) 下半期の事業主査の活動について

EMC…今後の活動予定内容は未だ決めていない。業務に忙殺されており現時点でお知らせするものはない。（上杉主査）

CS …第3回目の植樹を実行する時に合わせてゴミ拾い作戦を実施予定（広瀬主査）

日時 2023年2月23日（祝・木）、東遊園地又は復興公園を予定

内容 植樹祭と周辺のゴミ拾い

それに伴いワイズでTシャツかトレーナーを揃えることを提案
費用・実施内容等に関しては後日相談

6) 当面の課題について

① 「西日本区財政の健全化のための理事提言」について

1月15日をめどに各クラブで協議し要望・意見書として西日本区に提出のこと
（クラブの要請があれば若林が出張して説明をさせていただきます。）

② 東西交流会の参加見込みとマーシャル登録に関して（田辺主査）

各クラブの参加者は調査中。

開催地元の部でもあり、登録者を60人ぐらいはと考えたい。参加者を募る積極策を各クラブで検討してほしい。（例：交流会を例会と位置づけ。クラブから補助金など）

各クラブからのマーシャル参加者の予定（12/5現在）

神戸	4名	神戸ポート	3名	芦屋	3名	宝塚	3名
神戸西	未定	西宮	未定	学園都市	未定	計	13名

7) その他

- ・メネット事業・・・六甲部絵本プロジェクトに関して（大野智恵委員長）

1月28日（水）に神戸YMCAで贈呈式を予定

各クラブのメネット事業支援金と西日本区Yサ事業補助金（申請中）を購入資金として贈呈の予定。クラブ負担1万円は12月中に六甲部会計への振り込みをよろしく。

- ・今期の使い捨て切手の収集に関しては後日六甲部としてどのようにするかを過去の実績を調べて報告する（田辺主査）

以上 書記 多胡葉子

西日本区第2回役員会（抄報）

開催日時：2022年10月22日（土） 23日（日）
開会 22日（土）13：30 閉会 23日（日）12：00
開催場所：22日 桜の馬場城彩苑多目的交流施設
23日 YMCA 阿蘇キャンプ
出席者：35名（兼任除く）
議事内容（抜粋）

第3号議案 2021-2022年度 西日本区会計年間決算承認の件（別紙参照）

第4号議案 第25回西日本区大会 会計決算報告並びに剰余金処分 承認の件

剰余金処分案として、1,224,040円を西日本区会計へ拠出

第5号議案 第27回西日本区大会ホストクラブ及び開催地 日程 承認の件

ホストクラブ：金沢、名古屋、名古屋東海、名古屋グランパス、とやま
2024年6月8日（土） 名古屋市公会堂・ANAクラウンプラザ・ホテルグランコート名古屋

第6号議案 書記委員会設立の件

第7号議案 ワイズYMCAパートナーシップ検討委員会を常置委員会にする件

第8号議案 定款改訂（沖縄を西日本区の地理的範囲とする）に伴う西日本区のロゴ変更の件

第9号議案 国際及びアジア太平洋地域が採択した「会費免除措置」を西日本区では適用しない件

第10号議案 JWF管理委員会委員承認の件

第11号議案 「西日本区サポート〈応援・支援〉ファンド」の創設について

西日本区の財政（とりわけ一般会計）は、現在、西日本区費などで賅っています。当初予算化されていない、都度必要と見込まれる区の効果的活動について、一般会計からの拠出が、困難な場合があるため、その支援・応援に資するためのファンドを創設したいと考えています。

このファンドはメンバーの趣意申出によって寄贈されるものです。尚、ファンドいただいた方々は台帳に記名し、永久に保存すべきであると考えます。また、ファンド金額に応じ、特典を設ける。

* 詳細については別途内規として定める

○協議書

第1号協議 アジア会長の氏名表記および西日本区ロゴ・ワイズエンブレム

第2号協議 第3回東西日本区交流会「語ろうワイズの未来！」討論参加者の公募の件

第3号協議 新しいファンドの在り方、創出をご協議願いたい

第4号協議 西日本区の健全財政に向けて

【報告】 西日本区次次期理事候補者の件について報告

今期指名委員会 委員長 新山兼司

六甲部 神戸クラブ 鶴丹谷 剛ワイズが、次々期理事指名委員会において満場一致で西日本区次次期理事候補者として推薦されました。

以上

別紙「西日本区会計 収支実績の推移」を添付しました。財政論議の際、参考にお使い下さい。